



## 令和6年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年5月15日

上場会社名 KLASS株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6233 URL <https://www.klass-corp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771  
 四半期報告書提出予定日 令和6年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和6年9月期第2四半期の連結業績（令和5年10月1日～令和6年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年9月期第2四半期	4,757	△1.1	56	△74.6	41	△78.2	11	△91.0
5年9月期第2四半期	4,808	2.8	220	43.5	189	26.4	127	31.4

(注) 包括利益 6年9月期第2四半期 22百万円 (△83.5%) 5年9月期第2四半期 135百万円 (33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年9月期第2四半期	2.14	—
5年9月期第2四半期	23.72	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年9月期第2四半期	10,233	2,883	28.2
5年9月期	10,575	2,915	27.6

(参考) 自己資本 6年9月期第2四半期 2,883百万円 5年9月期 2,915百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
6年9月期	—	0.00	—	—	—
6年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和6年9月期の連結業績予想（令和5年10月1日～令和6年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	11.2	370	17.8	365	28.6	250	144.4	46.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年9月期2Q	5,391,000株	5年9月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	6年9月期2Q	77株	5年9月期	76株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年9月期2Q	5,390,923株	5年9月期2Q	5,390,972株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、大企業の設備投資の増加が続いたほか、インバウンド需要の一層の回復等により、景気は緩やかに持ち直しましたが、当社の主たるマーケットである住宅建設関連市場では、建設資材の高騰などの影響で新設住宅着工件数が低調に推移しました。また、ウクライナや中東地域の紛争等の地政学リスクの高まり、国際的なサプライチェーンの混乱や資源価格の高騰、生産資材の仕入れ納期長期化等不安定な状況が依然として続いております。

そうした経営環境の中、当社におきましては、インダストリーセグメントが引き続き好調に推移して、回復してきたニュー・インダストリーセグメントとともに全社を牽引しましたが、主力のプロフェッショナルセグメントが伸び悩みました。この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,757百万円（前年同期比1.1%減）となり、営業利益56百万円（前年同期比74.6%減）、経常利益41百万円（前年同期比78.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円（前年同期比91.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### ①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は、リアルの大規模展示会の復活や新型自動壁紙糊付機等の新商品の発売などの施策を展開しましたが、低調な住宅建設関連市場の影響もあって、売上高は伸び悩みました。また、商号変更費用や新製品の金型の償却等の発生、原材料や商品仕入価格の上昇は、損益面の重石となりました。畳事業は、補助金採択件数の減少が畳製造装置の販売に影響する中で、それを想定した畳店向けの工具等のネット販売やリモート方式での活発な営業活動を続けましたが、十分に盛り返すことができず、売上高・損益ともに低調な推移となりました。その結果、プロフェッショナルセグメントの売上高は3,363百万円（前年同期比5.2%減）、営業損失65百万円（前年同四半期は営業利益157百万円）となりました。

#### ②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、フィットネスクラブ向け防音・防振床材が好調を維持し、棺用畳の需要も回復傾向となりましたが、住宅向けの畳替え需要は依然として回復の途上です。ソーラー・エネルギー事業は、中規模以上の案件開拓が引き続き低調でした。一方、兵庫県佐用町に設置しているメガソーラー発電所「三日月サンシャインパーク」をはじめとする売電事業は、順調に稼働しました。その結果、コンシューマセグメントの売上高は364百万円（前年同期比4.1%減）、営業損失2百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

#### ③インダストリーセグメント

産業機器事業は、大企業の設備投資拡大を受けて、引き続き主要製品である二次電池製造装置のリピート受注が好調に推移したほか、その他生産設備案件の引き合いも新規・リピートを含めて活発です。食品機器事業では、大手飲食チェーンからのマルチディスペンサーの引き合いが回復してまいりました。その結果、インダストリーセグメントの売上高は731百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益97百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

#### ④ニュー・インダストリーセグメント

令和2年10月1日に子会社化した株式会社ROSECCを当セグメントに位置付け、得意とする自動車関連業界に加えて、住宅設備関連業界の開拓を進めております。当期は前期後半からの回復基調の中で自動車関連業界からの大型機器、消耗品の受注が順調に推移しました。その結果、ニュー・インダストリーセグメントの売上高は298百万円（前年同期比62.5%増）、営業利益は25百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ342百万円減少し、10,233百万円となりました。資産のうち流動資産は、現金及び預金が181百万円増加、電子記録債権が115百万円増加、棚卸資産が67百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が609百万円減少したこと等により、292百万円の減少となりました。固定資産につきましては、無形固定資産及び投資その他の資産が合計で4百万円増加しましたが、有形固定資産が54百万円減少したことにより、50百万円の減少となりました。

#### ②負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ311百万円減少し、7,349百万円となりました。負債のうち流動負債は、賞与引当金が62百万円減少、その他が173百万円減少したこと等により、232百万円の減少となりました。固定負債につきましては、主に長期借入金が92百万円減少したことにより、78百万円の減少となりました。

## ③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、2,883百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が7百万円増加しましたが、利益剰余金が42百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ239百万円増加し、1,042百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、資金は414百万円の増加（前年同四半期は23百万円の増加）となりました。これは主に、減価償却費121百万円、売上債権及び契約資産の減少506百万円、契約負債の増加52百万円等の資金増加要因が、賞与引当金の減少62百万円、棚卸資産の増加67百万円、未払又は未収消費税等の増減額126百万円等の資金減少要因を上回ったためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、資金は39百万円の減少（前年同四半期は260百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出79百万円、その他の支出10百万円等の資金減少要因が、定期預金の純減少額58百万円の資金増加要因を上回ったためであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、資金は135百万円の減少（前年同四半期は326百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出387百万円、配当金の支払53百万円等の資金減少要因が、長期借入れによる収入320百万円の資金増加要因を上回ったためであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、令和5年11月15日の「令和5年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,195,211	1,376,235
受取手形、売掛金及び契約資産	2,237,606	1,628,083
電子記録債権	1,072,190	1,187,507
商品及び製品	842,871	952,500
仕掛品	208,065	180,869
原材料及び貯蔵品	403,755	389,071
その他	159,960	112,741
貸倒引当金	△212	△167
流動資産合計	6,119,449	5,826,841
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,748,318	1,749,574
土地	1,415,008	1,415,008
その他（純額）	667,851	611,956
有形固定資産合計	3,831,177	3,776,539
無形固定資産		
その他	83,342	75,772
無形固定資産合計	83,342	75,772
投資その他の資産		
その他	543,482	553,961
貸倒引当金	△1,699	—
投資その他の資産合計	541,783	553,961
固定資産合計	4,456,302	4,406,273
資産合計	10,575,752	10,233,115
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	796,120	805,963
電子記録債務	1,160,290	1,185,184
短期借入金	1,900,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	244,458	268,918
未払法人税等	71,660	21,898
製品保証引当金	5,822	6,232
賞与引当金	163,200	100,945
役員賞与引当金	11,000	4,300
その他	501,649	327,841
流動負債合計	4,854,202	4,621,282
固定負債		
長期借入金	2,169,587	2,077,298
役員退職慰労引当金	273,300	292,800
退職給付に係る負債	312,337	310,354
その他	51,136	47,797
固定負債合計	2,806,362	2,728,250
負債合計	7,660,564	7,349,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,817,741	1,775,342
自己株式	△48	△49
株主資本合計	2,929,867	2,887,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,675	16,577
退職給付に係る調整累計額	△23,354	△20,464
その他の包括利益累計額合計	△14,679	△3,886
純資産合計	2,915,188	2,883,581
負債純資産合計	10,575,752	10,233,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)
売上高	4,808,453	4,757,839
売上原価	3,264,605	3,324,904
売上総利益	1,543,848	1,432,934
販売費及び一般管理費	1,323,001	1,376,930
営業利益	220,846	56,003
営業外収益		
受取利息	517	305
受取配当金	262	271
受取保険金	334	1,851
受取補償金	2,386	931
スクラップ売却益	1,713	2,149
その他	3,771	2,531
営業外収益合計	8,987	8,041
営業外費用		
支払利息	12,229	12,822
為替差損	1,360	5,331
支払手数料	24,432	3,205
その他	2,153	1,318
営業外費用合計	40,176	22,678
経常利益	189,657	41,367
特別損失		
固定資産除却損	—	3,219
棚卸資産廃棄損	—	7,085
特別損失合計	—	10,304
税金等調整前四半期純利益	189,657	31,062
法人税、住民税及び事業税	56,699	10,460
法人税等調整額	5,102	9,091
法人税等合計	61,801	19,551
四半期純利益	127,855	11,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,855	11,510



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)
四半期純利益	127,855	11,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,767	7,902
退職給付に係る調整額	3,800	2,890
その他の包括利益合計	7,567	10,792
四半期包括利益	135,423	22,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,423	22,303
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	189,657	31,062
減価償却費	114,508	121,636
のれん償却額	4,883	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△48	△1,744
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,257	△62,255
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△330	410
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,100	△6,700
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,864	△1,983
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	3,800	2,890
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,200	19,500
受取利息及び受取配当金	△780	△576
支払利息	12,229	12,822
支払手数料	24,432	3,205
有形固定資産除却損	—	3,219
受取保険金	△334	△1,851
受取補償金	△2,386	△931
補助金収入	△909	△621
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	210,447	506,086
棚卸資産の増減額(△は増加)	△147,908	△67,748
仕入債務の増減額(△は減少)	△331,104	36,557
契約負債の増減額(△は減少)	△61,233	52,120
未払金の増減額(△は減少)	△105,725	△61,343
未払費用の増減額(△は減少)	△8,943	△11,078
未払又は未収消費税等の増減額	137,326	△126,181
その他	24,518	34,412
小計	45,079	480,906
利息及び配当金の受取額	563	447
利息の支払額	△12,346	△12,832
保険金の受取額	334	1,851
補償金の受取額	2,386	931
補助金の受取額	909	621
法人税等の支払額	△13,400	△57,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,526	414,023
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	58,199	58,199
有形固定資産の取得による支出	△295,886	△79,094
無形固定資産の取得による支出	△11,673	△7,764
その他	△11,337	△10,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260,698	△39,310
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	275,000	—
短期借入金の返済による支出	△275,000	—
長期借入れによる収入	510,300	320,000
長期借入金の返済による支出	△93,407	△387,829
リース債務の返済による支出	△11,881	△11,596
配当金の支払額	△53,909	△53,909
その他	△24,589	△2,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	326,512	△135,489

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89,339	239,223
現金及び現金同等物の期首残高	1,087,351	803,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,176,691	1,042,223

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	1,199,286	273,776	683,623	80,868	2,237,555
商品	2,306,725	83,738	4,990	75,300	2,470,754
その他	39,648	22,863	10,077	27,553	100,143
顧客との契約から生じる収益	3,545,660	380,379	698,690	183,723	4,808,453
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,545,660	380,379	698,690	183,723	4,808,453
計	3,545,660	380,379	698,690	183,723	4,808,453
セグメント利益又は損失(△)	157,442	△1,701	80,593	△15,485	220,848

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	220,848
セグメント間取引消去	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	220,846

## II 当第2四半期連結累計期間(自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	953,504	241,366	708,539	178,484	2,081,894
商品	2,367,095	100,340	8,039	90,449	2,565,925
その他	42,401	23,109	14,792	29,715	110,019
顧客との契約から生じる収益	3,363,001	364,816	731,371	298,649	4,757,839
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,363,001	364,816	731,371	298,649	4,757,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	55	873	928
計	3,363,001	364,816	731,426	299,522	4,758,767
セグメント利益又は損失(△)	△65,006	△2,466	97,794	25,681	56,003

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	56,003
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	56,003